

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年6月30日 (第4回)
目標年度	令和18年度
市町村名 (市町村コード)	神戸市 (28100)
地域名 (地域内農業集落名)	伊川谷地区 (永井谷・北別府集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	44.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積(井吹・別府・潤和全体)	66.7 ha
② 田の面積(井吹・別府・潤和全体)	18.6 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)(井吹・別府・潤和全体)	48.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.1 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	33.8 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・高齢化により急勾配な法面の草刈り作業が困難である。また、草刈り作業の回数に対して、人手が不足しており、農作業が進まない。
- ・圃場整備が進んでいないエリアや、地形的に水はけと日照がわるい農地があり、作業効率が悪い。
- ・営農組合への作業委託や農地の貸し出しなど、農地の有効利用がうまくいっていない。
- ・パイプラインが設置から30年以上経過しており、持続的な農業を目指す上で定期的な修繕や管理などが必要である。
- ・新しい農業機械を購入することや既存機械の修理が難しい。そのため、機械が壊れると農業を続けることが困難である。
- ・イノシシやアライグマの被害が多くなってきているが、電気柵などを設けるにあたり資金面で課題がある。
- ・燃料や肥料などの資材費が高騰しており、農業を継続することが困難になってきている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・水稻や軟弱野菜を主要作物としつつ、クリーンセンターの温水を利用した高収益作物の検討をはじめ、農業を担うものを含めて栽培方法を確立する。
- ・自走式の草刈り機やドローン等による農業機械のIT化を取り入れ、スマート農業を段階的に開始する。
- ・ネクストファーマーが地区内で研修していることもあり、次の担い手とするための交流会を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・目標地図を活用し、「農業を担う者」がいる農地、いない農地を集落として俯瞰的に把握・共有する。			
・「農業を担う者」のいない農地について、今後、誰がどのように耕作・管理していくのかを協議し、「農業を担う者」のいる農地については、必要に応じて農地の集約化を検討する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	49.5	%	将来の目標とする集積率
			50 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			

・目標地図に示した範囲を集積していくことにより、団地面積を拡大していく。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとすべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組

・耕作できなくなった農地など段階的に集約化していき農地の団地化や面積の拡大を図りつつ、新規就農者や企業の農業への参入をすすめていく。

(2)農地中間管理機構の活用方法

・農地バンクに貸し付けを行いながら、段階的に集約化をすすめる。

(3)基盤整備事業への取組

・多面的機能支払交付金の活用により修繕・整備を引き続き図っていく。

(4)多様な経営体の確保・育成の取組

・機械などの共同購入や作業の受託などを促進しながら、農業の担い手の事業の持続拡大を支援する。
 ・ネクストファーマー等を含めた新規就農者を今後の農業の担い手とするために、地域で就農の窓口を広げる。
 ・共同作業や地域のルール、作業委託・受託、農地の貸し借りといった地区内の情報を共有できる仕組み作りを検討する。

(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

・効率化が期待できる作業などは、集落内のオペレーターに部分的な委託をすすめる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

・多面的活動を通じて、水路、ため池の保全や遊休農地の有効活用を地域で一体的に取り組む。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 18 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
利用者			27.7 a	a		27.7 a	a	1	
利用者		水稻、野菜	194.1 a	a	水稻、野菜	194.1 a	a	2	
利用者		水稻	75.9 a	a	水稻	75.9 a	a	3	
利用者			4.3 a	a		4.3 a	a	4	
利用者			4.6 a	a		4.6 a	a	5	
認農		水稻	11.8 a	a	水稻	11.8 a	a	6	
利用者			30.6 a	a		30.6 a	a	7	
利用者		水稻	25.4 a	a	水稻	25.4 a	a	8	
利用者		野菜、果樹	9.6 a	a	野菜、果樹	9.6 a	a	9	
利用者			2.7 a	a		2.7 a	a	10	
利用者			7.1 a	a		7.1 a	a	11	
利用者			18.4 a	a		18.4 a	a	12	
認農		野菜	84.3 a	a	野菜	84.3 a	a	13	
利用者		水稻、野菜	88.0 a	a	水稻、野菜	88.0 a	a	14	
認農		水稻、野菜	386.2 a	a	水稻、野菜	386.2 a	a	15	
利用者		野菜	7.5 a	a	野菜	7.5 a	a	16	
利用者		野菜	33.1 a	a	野菜	33.1 a	a	17	
利用者		水稻	56.3 a	a	水稻	56.3 a	a	18	
利用者		水稻、野菜、飼料作物	265.1 a	a	水稻、野菜、飼料作物	265.1 a	a	19	
利用者		水稻、野菜	22.9 a	a	水稻、野菜	22.9 a	a	20	

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。